

コープで
広がる、
つながる



各地域のフードバンクや子ども食堂に、
最寄りの宅配センターでお米をお渡ししています



寄贈したお米は、子ども食堂での炊き出し・お弁当の配布や、
フードバンクなどでの食品配布として活用されています

食べることに困っている方々を支えたい 1年間で200トン（5kg米で4万袋） のお米を寄贈します

1年間を通してお米を
届けます

これまで同様、
支援を続けます

長引く物価高、そしてお米の価格の高騰。生活が苦しく食事を満足に取れない方や子どもたちが増えていきます。こうした方々を支援するため、コープみらいでは2022年度からお米などの食品を、子ども食堂やフードバンク・社会福祉協議会などを通じて、地域で食料支援を行っている団体へ寄贈しています。お米は生鮮食品であることから、毎月2回・年間24回に分け、1年間を通して千葉県・埼玉県・東京都の計62団体（2025年度実績）にお渡ししています。

寄贈したお米は、ひとり親家庭・子育て家庭へのフードパントリー（食品の配布）や、子ども食堂・炊き出しでの利用など、生活にお困りの方への食料支援として活用されています。地域に根ざした団体と一緒に取り組みを行うことで、地域でのつながりづくりにも役立っています。

これまで4年間お米の寄贈を続けてきましたが、昨年度はお米の確保が難しくなり、一時期パンやパックご飯に代え、切れ目のない支援を続けました。「食べ盛りの子どものみなので本当に助かります」「食品の価格が高騰しているので、こうした支援は本当にありがたいです」といった声をいただいています。

コープみらいは地域に根ざすたすけあいの組織として、これからも生活にお困りの方への支援を続けます。

コープみらいは、2022年度からお米などの食品を地域の子ども食堂やフードバンク・社会福祉協議会などに寄贈しています。物価高騰により生活にお困りの方々の食の支援につなげていきます。

寄贈先団体の1つ

（一社）埼玉県子ども食堂ネットワークに加盟する
NPO法人きっちん・こすもす 代表理事 櫻井 敬子さん

「私たちは埼玉県久喜市で月1回子ども食堂を開催し、いただいたお米は子どもたちへのあたたかいお弁当として活用しています。ハンバーグやカレーが人気で、子どもたちは『おいしかった』と言ってくれます。一昨年ごろからお米が手に入りにくくなりましたが、コープさんからは毎月お米をいただくことができ、保護者の皆さんからも『本当に助かります』という声が届いています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします」

